



この1年は…

● 渡辺 信之

国労東日本本部 法対部長



昨年2月17日の安倍首相が森友学園に関する国会答弁で、「私や妻がかかわっていたら、首相や国会議員をやめる」を発端にはじまった「改ざん・偽証・隠ぺい・廃棄」が、安倍首相と首相夫人を守るために官邸・省庁でこの1年間で横行しました。

私たちから見ればこんな不正なことが国会で行われたのかと、怒りを通り越してあきれてしまいますよね～！！もっと分かりやすく言えば、「入学試験で正解に書き替える」とか「はずれの宝くじを1等に直す」と同じです。もちろんこんな不正行為を行えば、一般人ならば社内規程での処分や法律で処罰されて、「すべてを失うこと」になるのに、どうして公文書を改ざんして国会議員の身分でいられるのか！？常識が通じないところなのではないでしょうか…！？

この1年間も国会と国民を欺いてきたことは断じて許せません。この責任を取って、答弁どおりにおやめください！——これが国民の素直な思いです。

「リトル・ロケットマン」とか「老いぼれ」とお互いに罵り合っていたのがつい1年前のことですが、6月12日シンガポールでの米朝会談で、トランプ大統領と金国務委員長が握手することが想像できたでしょうか！？

米朝は1950～53年の朝鮮戦争で、多くの犠牲を出して現在も「休戦状態」が今でも続いています。緊張関係から「朝鮮半島の非核化」と「平和体制の構築」の実現に向けて一足飛びとはなりません。が、「約束対約束、行動対行動」を通じて、必ずやお互いに信頼関係を築き上げて、近い将来には、朝鮮半島の平和を実現することを心から願うものです。

JR東日本でもこの4月に新社長に交代して、「社員の皆さんへ」とのメッセージを発しています。社員やグループ会社社員のみなさんも、「1年前とは様変わり」と思うこともあるでしょうが、変化を痛感しながらも進化させなければならぬのは、「鉄道の安全」です。